「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりょくする

9月

2026年度

西神吉小だより

加古川市立
西神吉小学校
学校通信
No.93

～ 令和８年度運動会　西神吉っ子、最高！！ ～



雲一つない清々しい秋晴れの下、令和８年度西神吉小学校運動会を無事に開催することができました。当日は、ご多用の中たくさんのご来賓、地域の皆様、そして保護者の皆様をお迎えし、子どもたちのがんばりを温かく見守っていただきましたことを、心より感謝申しあげます。

子どもたちは今日まで、暑い日も雨の日も、限られた時間の中で一生懸命に練習を重ねてきました。その成果を思う存分に発揮し、グラウンドには輝く笑顔と真剣なまなざし、そしてたくさんの感動があふれる素晴らしい一日となりました。

まず力を尽くし、躍動した徒競走と競争演技。徒競走では、どの子も自分の持てる力を一滴残らず出し切ろうと、ゴールを目指して一直線に駆け抜けました。１・２年生の玉入れ「どっちがおおいかな？」では、保護者の皆様も一緒になって盛り上がり、青空いっぱいに紅白の玉が舞う微笑ましい光景が見られました。中学年の「巻き起こせ！西神吉っ子！ハリケーン」では、３・４年生が声を掛け合い、笑顔の中にも真剣な表情をのぞかせて白熱した勝負を繰り広げました。５・６年生の「熱闘！呼吸を合わせて綱を引け！」は、まさに手に汗握る名勝負の連続。勝利に飛び上がって喜ぶ姿はもちろんのこと、真剣に立ち向かったからこそ負けて悔しそうにする姿にも、見ていて胸が熱くなりました。

そしてどの学年も輝きを放った表現演技。低学年の「かわいすぎて、滅。～１・２年生、全力です～」では、手に持ったキラキラのポンポンを揺らしながら一生懸命に踊る姿が心からかわいらしく、観る人の心をほっこりと温めてくれました。中学年の「西神吉っ子ソーラン 2026～仲間と共に…届け、私たちの想い～」では、運動場いっぱいに響きわたる迫力あるかけ声と力強い踊りで、観客の皆様に大きな勇気と元気を与えてくれました。そして高学年の「Horizon～挑戦　まだ見ぬ未来へ～」。さすが高学年と思わせる見事な集団美でした。息の揃った動きから生まれるフラッグの風切り音が大空にこだまし、途中のキレッキレのダンスも含め、観る人すべての心を揺さぶる圧巻の表現でした。

この運動会を支えた高学年の活躍にも賛辞を贈りたいです。競技や演技だけでなく、休み時間返上で準備を進めてきた高学年の係活動が光っていました。運動場全体を大いに盛り上げてくれた得点発表をはじめ、自分たちの手で運動会を成功させようと動く姿は大変頼もしく、周囲をたくさんの笑顔にしてくれました。

閉会式で児童会から笑いとともに発表された紅白対抗の最終結果は、わずか「２点差」という大接戦でした。この劇的な結末こそ、西神吉っ子の一人ひとりが最後まで諦めずに全力でがんばり抜いた証です。

子どもたちの努力はもちろんのこと、教職員の情熱、保護者の皆様の温かい応援、地域の皆様の見守り…そのすべての想いが合わさったからこそ、全員の心がひとつになり、これほどまでにステキで感動的な運動会を作り上げることができたのだと確信しています。

西神吉っ子は、本当にステキで、本当にかっこいい！心から誇りに思います。

最後になりますが、大きなケガもなく、子どもたちの真剣な表情とはじける笑顔をたくさん見ることができたのは、皆様のお力添えのおかげです。早朝からの熱いご声援と温かい拍手をありがとうございました。また、PTA 役員の皆様をはじめ、早朝からの準備や終了後のテント等の片付けにまで快くご協力いただいた保護者の皆様、日頃より温かく見守ってくださる地域の皆様、そしてご家庭で温かく子どもたちを送り出してくださった保護者の皆様に、改めて深く感謝申しあげます。ありがとうございました。



学校・家庭・地域が手を取り合って創り出す行事は、やはり最高です。

しかし、運動会はこれで終わりではありません。大切なのは、この成功体験と努力の過程で得た学びを、これからの日常や学校生活にどう活かしていくかです。西神吉っ子のさらなる成長に向け、教職員一丸となって日々の教育活動に励んでまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いします。

さて、次は１１月７日（土）の「ひびきあい音楽会」です。運動会で一段とたくましくなった子どもたちが、今度はどのような美しいハーモニーを響かせてくれるのか、今から楽しみでなりません。がんばりますので、運動会同様、演奏の前後には温かい拍手をよろしくお願いします。

西神吉っ子の一コマ

令和8年度　西神吉小学校　運動会
過去の自分に追いついた！！追い越せた！！　今のみんなは上昇気流！！


































